

令和7年度桜蔭会新潟支部イベント 「お茶を楽しむ」報告

桜蔭会新潟支部 押木和子

本年度の新潟支部総会と懇親会は10月5日対面で白山公園内の燕喜館にて行いました。燕喜館は明治時代の大商家の斎藤家の邸宅の一部を移築再建した歴史的な建築物です。総会では、事業報告、決算報告、事業予定と予算案が滞りなく了承されました。みなさまの近況をお話いただきながら、仕出し屋「秋やま」のお弁当で昼食会をいたしました。

その後、会場を隣の前座敷に移し、お茶会を行いました。現在ご自宅で裏千家茶道のご指導をなさっている上田容子さん（昭和51食物）に亭主役をお願いし、「お茶を楽しむ」と題してお話をいただきました。

上田さんには、部屋のしつらえから炭、風炉、茶碗等のお道具の準備をみなやっていただきました。



お茶に先だっていたいただいたお菓子は京都の末富で修行を積まれた小泉慶太さんが桐生で開いた香雲堂の「光琳菊」でした。厳選された材料で作られた上品で美味しいお菓子です。

お軸は「和敬静寂」、お花はテッセン、香合は桜蔭会のご縁を象徴する結び目。濃茶のお点前を田村明子さん（昭和59児童）が披露してくださいました。濃茶はどろどろとして少し飲みにくいですが、決して苦くなく、なめらかでお茶の味を堪能できました。茶道の歴史から、お道具の美学、行儀作法のことまで、ふだんなかなか聞けないことを学ぶことができました。上田さんには、遠慮なく初歩的な質問をすることができ、

楽しいお茶会でした。燕喜館併設の茶室も見学し、狭いにじり口から4畳半の茶室に入り、時をさかのぼる感覚を味わいました。

この後は奥座敷で行われている市民呈茶会に参加しました。こちらは大寄せで老若男女、多くの市民が待合から次々に毛氈の惹かれた茶席に案内されていました。

私たちは、上田さんに、丁寧に作法を教えてくださいました後だったので、緊張せずにおいしく薄茶をいただくことができました。

みなさまのご協力で、親交を深めながら、お茶の世界を味わうことができました。大変ありがとうございました。

